
マルゼン 防音油圧パワーユニット U-090S 型

取扱説明書



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。

誤った使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

丸善工業株式会社

はじめに

この度は、マルゼン防音油圧パワーユニット U-090S 型をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。この取扱説明書は、安全かつ能率的にご使用をいただくための手引きとして、取扱い方法・使用上の注意事項及び点検整備方法について特に注意すべき事項を説明してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しい取扱いをして、最良の状態で安全な使用方法で操作してください。

本書に従わなかった場合、重大な事故に結びつくことがあります。

この取扱説明書は、機械の付近に保管し、機械を扱う全ての方が定期的に見るようになさってください。紛失または汚損された時は、速やかに当社または当社の販売店にご注文ください。

又、製品を貸与または譲渡される場合は、本取扱説明書を製品に添付して、熟読する様にお伝えください。なお、ご不明なことや、お気付きのことがございましたら、当社または当社販売店までご連絡ください。なお、部品交換の際には必ず純正部品をご使用くださるようお願い致します。

純正部品でないものをご使用になると機械の性能、耐久性などを著しく低下させる危険性がありますのでご注意願います。

 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるもの、または物的損害が生じるおそれがあるものを示します。

あらゆる環境下に於ける運転・点検・整備の全ての危険を予知する事は出来ません。

そのため、記載されている説明文は安全の全てを網羅したものではありません。

説明文にない運転・点検・整備を行う場合には、全て自分の責任において安全に対する必要な措置を取ってください。

目 次

安全操作のための注意事項	2 ～ 3
安全標識の貼り付け位置	4
本製品の使用目的	5
本製品の仕様	6
本製品の名称	7
使用上・作業上の注意	8
使用方法	9 ～ 14
保守点検	15 ～ 18
異常の原因と処置	19 ～ 20
部品図・部品表	22 ～ 32
保証書	
安全操作説明確認カード	
安全操作説明確認（お客様控）	

安全標識の意味

	使用前に取り扱い説明書を読み理解してください。
	保護メガネを使用してください。
	耳栓を使用してください。
	防じんマスクを使用してください。
	ヘルメットを使用してください。
	手袋を使用してください。
	安全靴を使用してください。
	本体が高温になります。直接触らないでください。
	噴出した高圧油に直接触らないでください。
	火気を機械に近づけないでください。
	火気厳禁。燃料給油口付近に火を近づけると火災の危険があります。
	排気ガスに注意。室内や換気の悪い場所では使用しないでください。

安全操作のための注意事項

ここに記載されている注意事項を守らないと死亡を含む傷害事故や機械の破損事故をまねくおそれがあります。

——安全にご使用いただくために——

危険

火気を近づけないでください。

- ・ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こすことがあります。
燃料補給をするときは必ずエンジンを停止して換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料を補給するときや燃料タンクの付近ではタバコを吸ったり炎や火花などの火気を近づけないでください。
- ・燃料をこぼさないように注意し、所定のレベルを超えないように補給し、燃料キャップを確実に締めてください。
もし燃料がこぼれた場合は、きれいにふき取りよく乾かしてからエンジンを始動してください。

【守らないと】

爆発や火災により死亡事故をまねくおそれがあります。

警告

1. 作業に適した服装と安全保護具の着用

- ・作業に適した服装をしてください。
- ・作業する時は必ず下記の安全保護具を着用してください。
 - (1) ヘルメット・・・切断物の飛散破片、障害物からの頭部の保護
 - (2) 保護メガネ・・・切断物の飛散破片からの眼の保護
 - (3) 安全靴・・・ブレードによる障害や落下物からの足の保護
 - (4) 手袋・・・高温部による火傷や打撲障害からの保護
 - (5) 耳栓耳覆い・・・騒音障害からの保護
 - (6) 防じんマスク・粉じんからの保護

【守らないと】

思わぬ障害事故をまねくおそれがあります。

2. こんな時は作業をしないでください

- ・過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時
- ・酒を飲んだ時
- ・手・足・腰等身体に痛みやケガのある時

【守らないと】

重大な事故をまねくおそれがあります。

3. 高温になるので直接さわらないでください

- ・本機を使用していると油温が上昇して、機械が熱くなります。
素手で触れたり、肌に接触させないでください。
- ・マフラーや排気ガス出口付近は高温になります。素手で触れたり、肌に接触させないでください。

【守らないと】

火傷をするおそれがあります。



警告

4. 排気ガスに注意してください。

- ・ 風通しのよいところで使用してください。
- ・ 室内で使用するときは充分換気してください。

【守らないと】

排気ガスによる中毒で、死亡事故にいたるおそれがあります。

5. 機械を他の人に貸す時は

- ・ 取り扱い方法をよく説明し、使用前に[取扱説明書]を必ず読み理解してから使うよう指導してください。

【守らないと】

説明不足により重大な障害や機械の破損をまねくおそれがあります。

6. 特定のアタッチメントを使用する際は必ず スローダウンスイッチをOFFにしてください。

- ・ “ON” の状態で作業すると、初めは低回転ですが負荷がかかった時にエンジン回転数の上昇と共に刃物等の回転数も急に速くなり危険です。
アタッチメントの種類は『p5 本製品の使用目的』を参照願います。

【守らないと】

破損や反動による事故および傷害をまねくおそれがあります。
取り扱い方法をよく説明し、使用前に[取扱説明書]を必ず読み理解してから使うよう指導してください。



注意

1. 本機を傾斜した場所で使わないでください。

【守らないと】

重大な傷害や事故を起こすことがあります。

2. 寒冷地での使用について

- ・ 寒冷地ではスローダウン装置の特性上、外気温との関係で、油温が一定の温度（35～40℃付近）に上昇してもエンジン回転数がスローにならない場合があります。その場合は油圧センサーの調整対応が可能です。お近くの当社販売店及びサービスセンターまでご相談ください。

3. 吊り上げ注意

- ・ 吊り具以外の箇所で本機を吊り上げないでください。

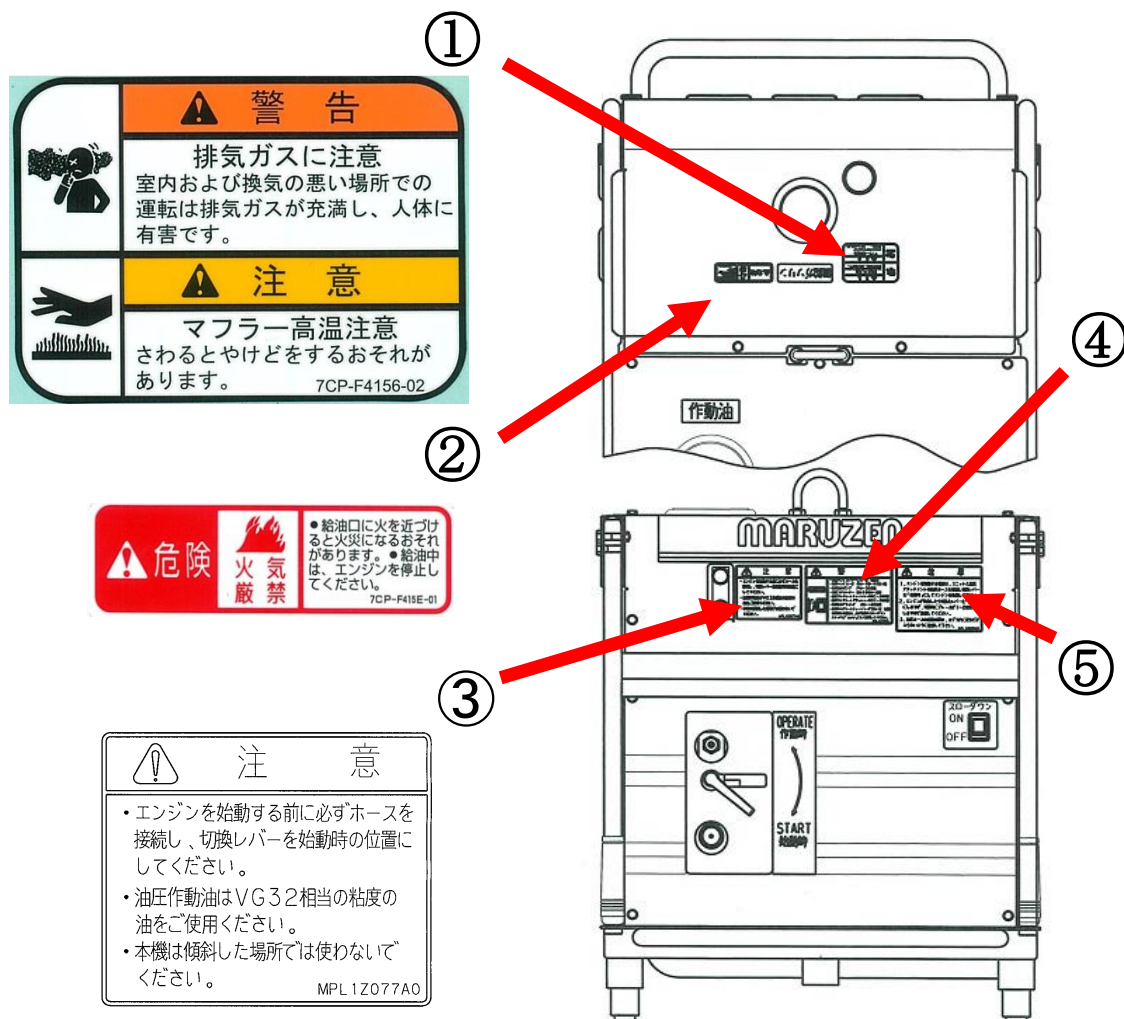
【守らないと】

機械落下による事故で重大な傷害を受けることがあります。

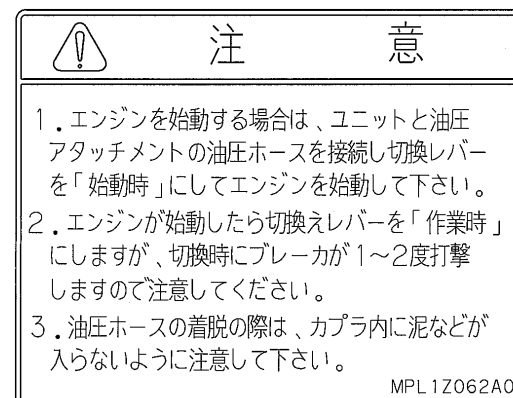
**エンジン取扱説明書の注意事項も
よくお読みください。**

安全標識の貼付位置

安全に作業していただくために、安全標識の貼り付け位置を示したものです。安全標識は汚損のないように保ってください。もしも、はがれたり汚損した場合は新しいものに貼り直してください。安全標識の購入に際しては部品番号で当社または、当社の販売店にご注文ください。



No.	部品番号	部 品 名
①	7CP-F4156-02	排気ガス警告・マフラー 注意ラベル
②	7CP-F415E-01	火気厳禁ラベル
③	MPL1Z077A	ラベル CB(注意)
④	MPL1Z120A	ラベル DG(警告)
⑤	MPL1Z062A	ラベル BN(注意)



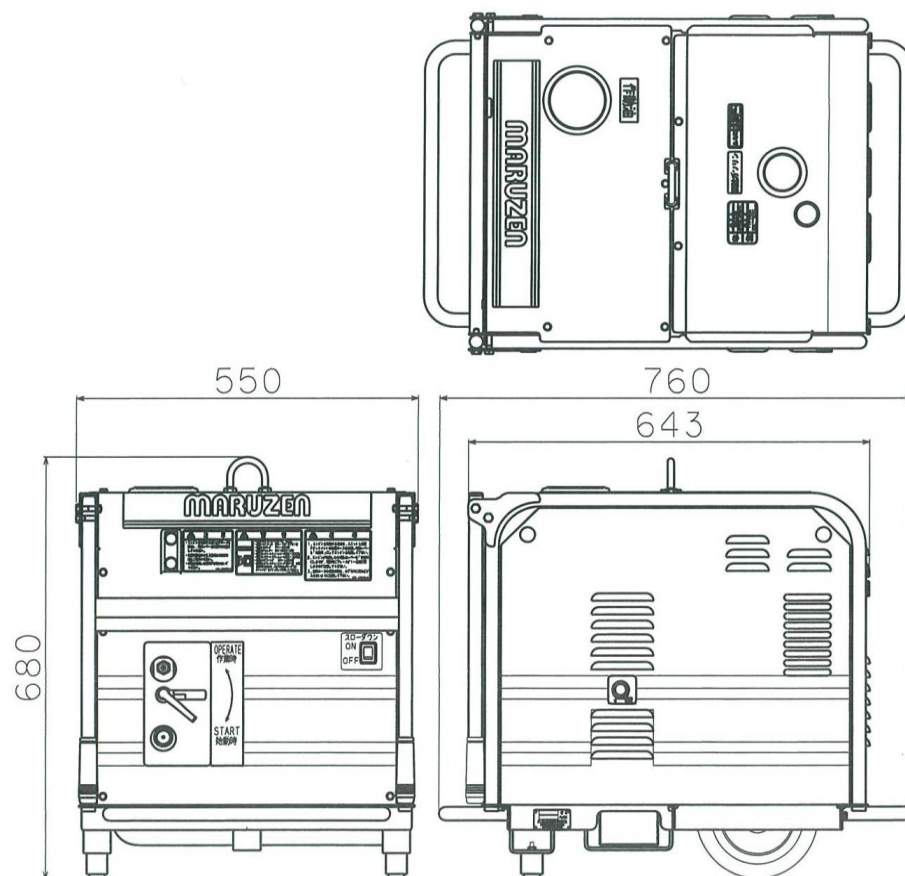
本製品の使用目的

1. 本製品は下記の当社油圧アタッチメントの動力源として使用してください。
2. 油圧アタッチメントによってはスローダウン装置を使用できない機種・型式があります。下記表に従ってください。

スローダウン設定	油圧アタッチメントの機種・型式
ON (OFFでも使用は可能)	(1) 油圧ハンドブレーカー : BH-23K・RK型、BH-22型、BH-20EV・EVR型、 BH-18K・RK型、BH-16VS型、BH-11E型、BH-7E型 BH-05B型(※機械の特性上、スローダウンしにくい仕様です) (2) 油圧ハンドブレーカー(水中仕様) : BH-05BU型、BH-11U型、BH-22U型 (3) 油圧杭打機 : KH-150-2型、KH-240V型、KH-800型 (4) 油圧ロックドリル : MHD-20B型 (5) 油圧水中ポンプ : PH-300型
OFF (ONでは絶対に使用不可)	(1) 油圧ハンドオーガ : OH-1、AY01H型 (2) 油圧ハンドカッター : CH-型 全型式 (3) 油圧コアカッター : DH190H-2型 (4) 油圧コンクリートチェーンソー : MDC-300型 (5) 油圧コンクリートクラッシャー : MCC-300型 (6) 油圧水中グラインダ : GH-180U型 (7) 油圧ロングリーチチェーンソー : PSH-190型、PSH-220型

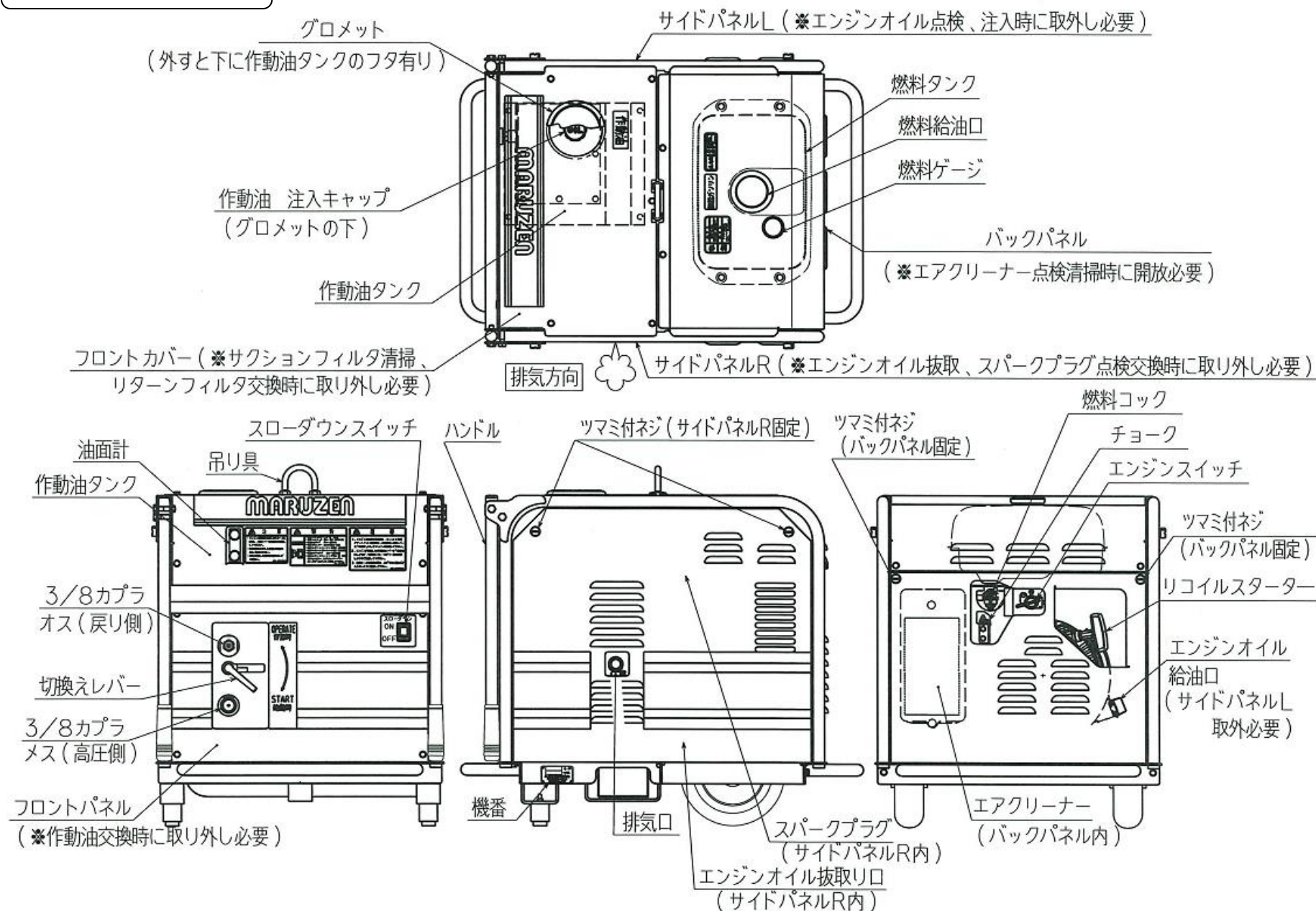
3. 下記のような場所又は方法では使用しないでください。
- (1) 引火しやすいもの、燃えやすいものがある場所での使用
 - (2) 傾斜した場所での使用
 - (3) 地下、建物の内部等換気の悪い場所での使用
 - (4) 標高1,000m以上の高地での使用（当社または当社販売店にご相談ください）
 - (5) 使用目的以外の作業での使用

本製品の仕様



外形寸法	L 760 mm×W 550 mm×H 680 mm
質量 (満タン)	98 kg
(乾燥)	88 kg
最高圧力	14 MPa
油流量	20.5 L/min
エンジン	ヤマハ 4 サイクルガソリンエンジン MZ300 最大出力: 6.1 kW (8.3PS) 3000rpm 時 燃料タンク容量: 5.8 L 使用燃料: 自動車用無鉛レギュラーガソリン エンジンオイル容量: 1 L エンジンオイル: 4 ストロークガソリンエンジンオイル SAE10W-30 もしくは 10W-40 (API 分類 SE 級以上) スパークプラグ : BPR4ES (NGK)
エンジン始動方法	リコイルスタート
作動油タンク容量	4.5 L
推奨作動油	ISO VG32 または VG46 耐摩耗性作動油
油圧取出し口	3/8in カプラ
その他	スローダウン装備
騒音値	68.1dB (測定位置 7m での 4 方向平均値) [※U-070S: 69.4dB、U-070-2: 73.8dB]

本製品の名称



使用上・作業上の注意

1. 本機を傾斜した場所では使わないでください。
2. ホースの接続、切り離し時はごみ、ほこり、泥などが付着しないように十分に注意してください。
3. 空の延長ホースを接続後は作動油タンク内の作動油が減るので作動油量を確認してください。
4. 寒冷地で作動油温度が低い時は＋１０℃くらいになるまで暖機運転をしてください。
5. マフラーの排気口の付近に燃えやすいものや引火するおそれのあるものがないことを確認してください。
6. エンジンに関する調整方法や、格納時の処置についてはエンジンの取扱説明書に従ってください。
7. 電気配線コードに傷をつけたり、水が掛かったりしないよう取り扱いに注意してください。
8. 作業中にホースが破損し、油が噴出した時は速やかにエンジンを停止させてください。
9. スローダウン装置は作動油温度が低いとアタッチメントの作業が鈍くなったり、エンジン回転数がスローにならない時がありますが、油温の上昇と共に正常になります。
10. スローダウン装置が正常に作動しない時は本取扱説明書のp15の『異常の原因と処置』の3、4項目をお読みください。
11. 停止後は必ず燃料コックのレバーを『OFF (閉じる)』の位置に合わせてください。
12. ホースの接続や切り離しを行うと少量の作動油が漏れます。油で周囲を汚さないように気をつけてください。
また、始動時には作動油の量を点検し、不足している時は補充してください。
13. 本機を1ヶ月以上格納する時は、エンジンのガソリンを完全に抜取ってください（燃料タンク内のガソリンを抜取り、その後経路内のガソリンがなくなって停止するまでエンジンを動かしてください。また、全体のごみ、泥等を取り除き清掃してください。）

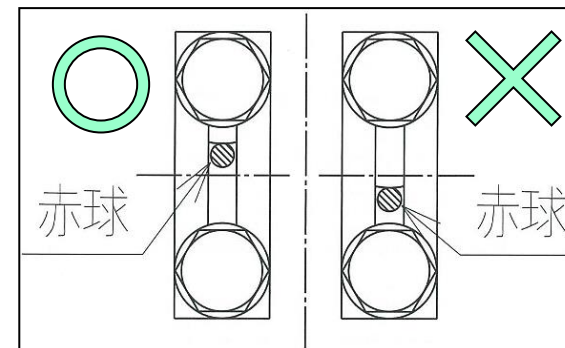
エンジン取扱説明書の詳細、点検項目もよくお読みください。

使用方法

1. ご使用前に

(1) 作動油の確認

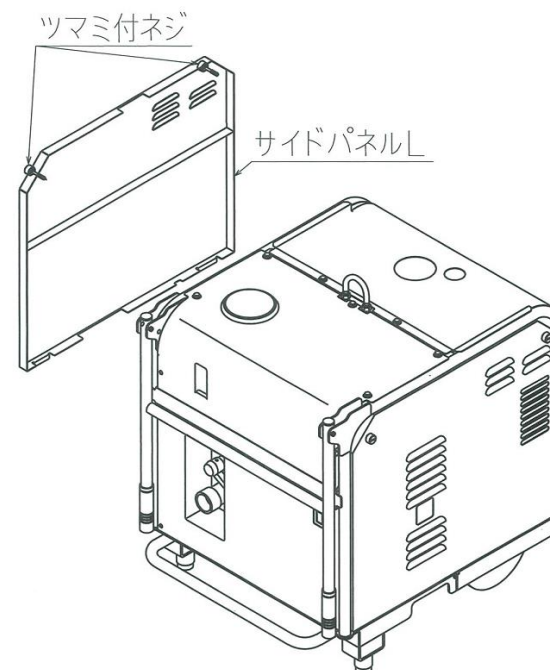
作動油タンクの油面計で油量を確認してください。不足している時は ISO VG32 又は 46 相当の粘度の耐摩耗性作動油を用意し、フロントカバーのグロメットを外してから、中にある作動油タンクの注入キャップをはずして油面が油面計の中央の高さになるまで注入してください。容量は約 4.5L です。



【油面の位置】

(2) エンジンオイル量の確認

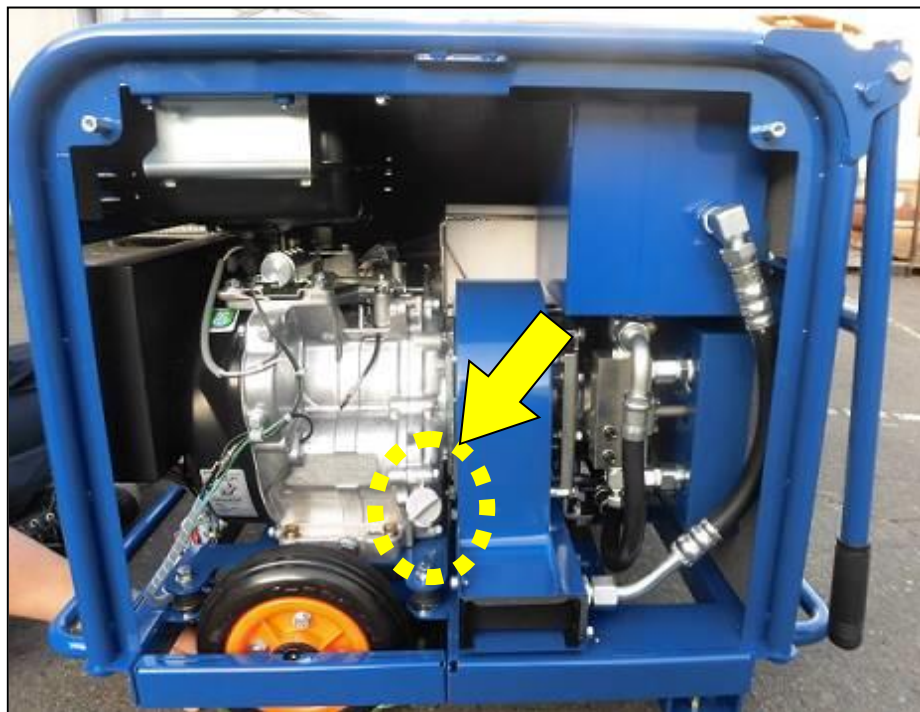
サイドパネルLをツマミ付ネジ2ヶを緩めて取り外します。ツマミ付ネジは脱落防止になっておりますのでパネルにひっかかるようになっております。ネジが固い場合はコイン等を溝に入れて緩めてください。



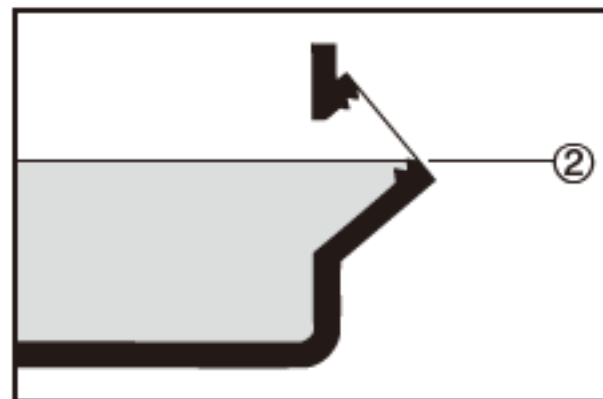
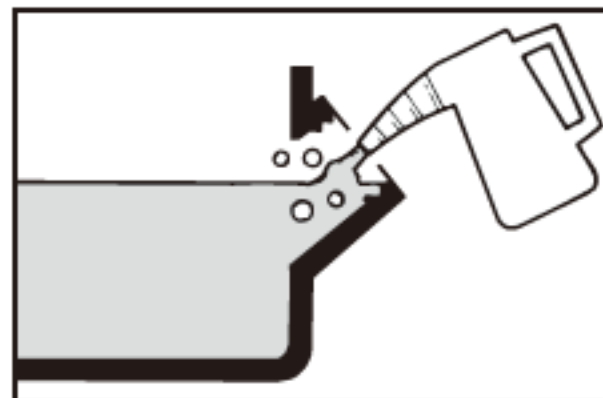
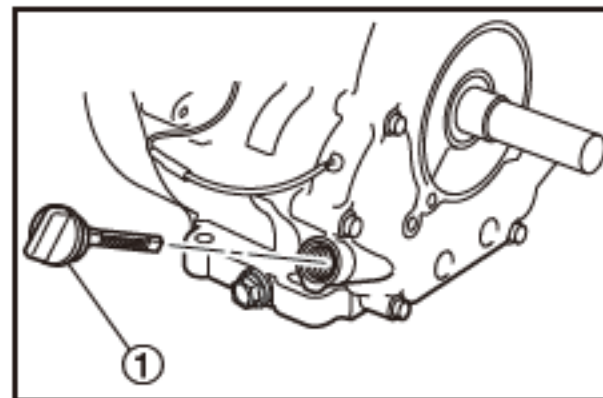
サイドパネルLを取り外せたら、下図の位置にあるエンジンオイル給油口のキャップ①を外します。

右図の②位置よりも不足している時は、4ストロークガソリンエンジンオイル SAE10W-30 を規定量になるまで注入してください。容量は1Lです。

オイル確認後はキャップを締めて、サイドパネルLを再び取り付けます。ツマミ付ネジ2ヶを締め付けて固定します。



エンジンオイル給油口の位置

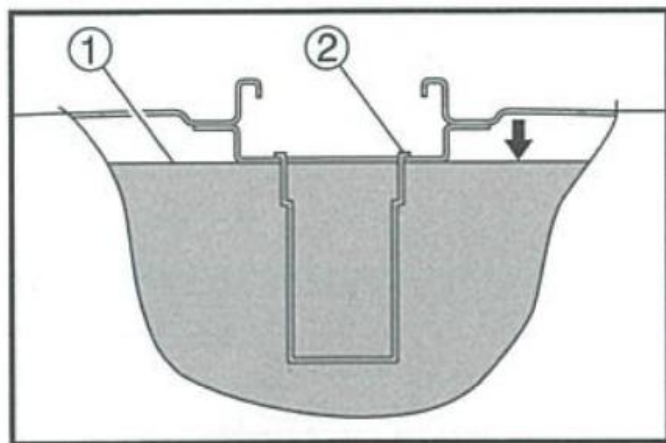


(3) 燃料の注入

エンジンの燃料タンクに自動車用無鉛ガソリンを注入してください。容量は約 5.8L です。**燃料は入れすぎないでください。**燃料がこぼれたら、きれいにふき取ってください。
目安としては燃料タンクフィルタの下端までになります。

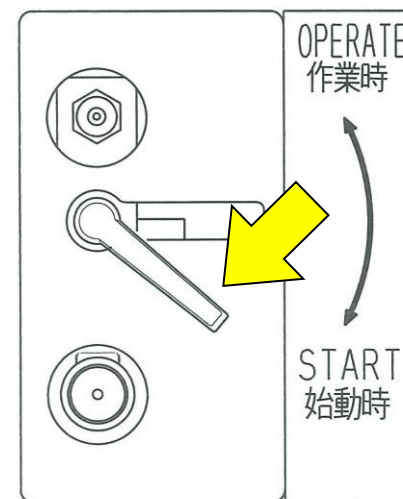


- ①燃料の量
- ②燃料タンクフィルタの下端

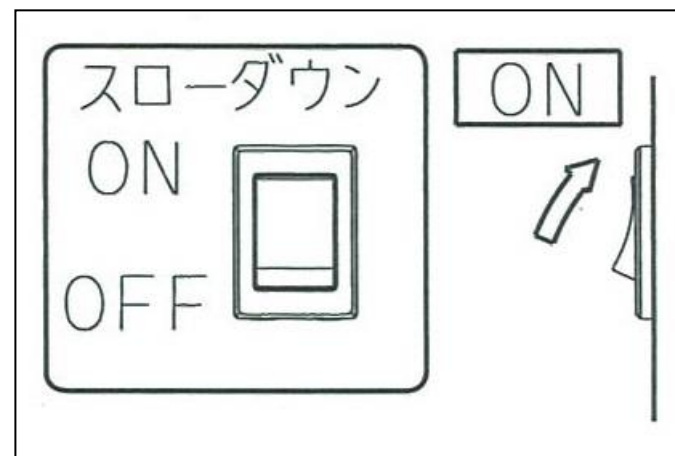


2. エンジンの始動

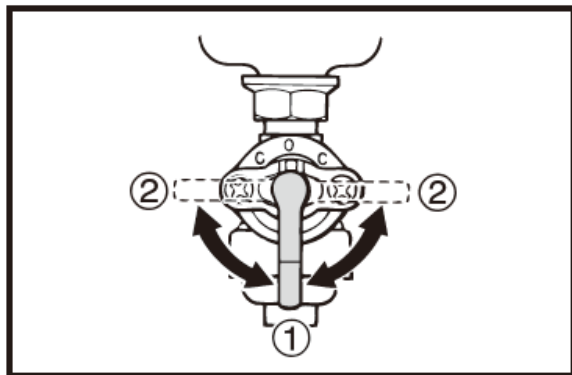
- (1) エンジンの始動操作をする前に油圧パワーユニットのホースを油圧アタッチメントのホースに接続してください。ホースを接続しない状態ではエンジンを始動しないでください。
- (2) 切換えレバーを『START 始動時』側になるように切換えてください。



- (3) スローダウンスイッチを『ON』にします。



(4) 燃料コックのレバーを『ON (開く)』①の位置に合わせます。



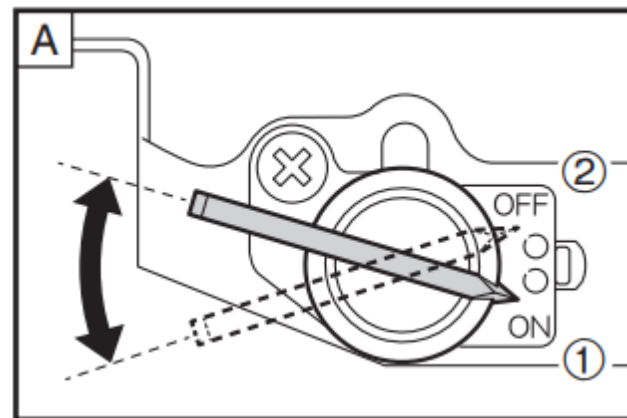
(5) チョークを『閉じる (始動)』の位置にします。

【チョークの位置】

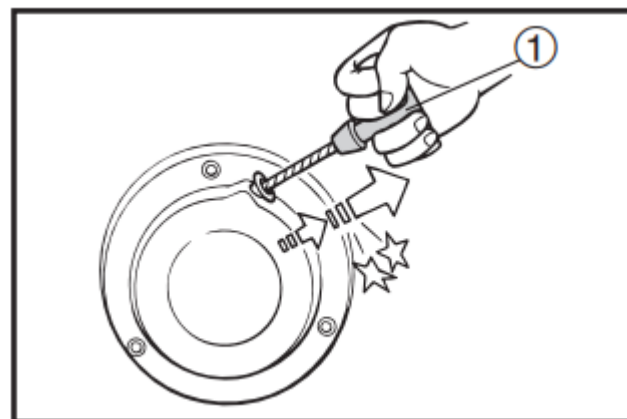
- ・寒い時やエンジンが冷えている時は『閉じる (始動)』の位置にします。
- ・暖かい時や運転停止直後に再始動する場合は『開く (作業)』もしくは『閉じる (始動)』と『開く (作業)』の中間位置にしてください。
- ・エンジンが暖まっているときは、チョークは必要ありません。



(6) エンジンスイッチを『ON』①の位置にします。



(7) リコイルスタータをゆっくり引き出し、重くなったところ (圧縮点) から勢いよく引きます。リコイルスタータを引いたまま手を放さないでください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。また運転中はリコイルスタータを引かないでください。エンジンに悪影響をあたえます。



(8) エンジンが始動したらチョークレバーを『閉じる(始動)』から『開く(作業)』に動かし開きます。寒い時または、エンジンが冷えている時、急にチョークレバーを開くと、エンジンが停止する事があります。ご注意ください。

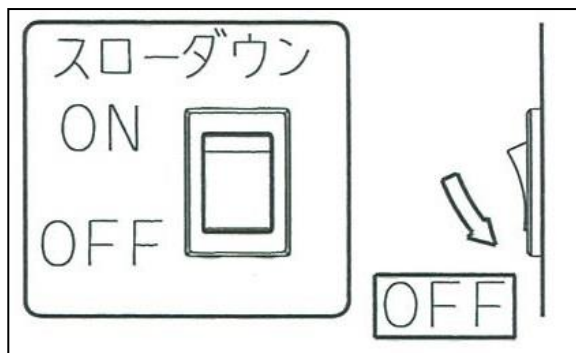


3. 運転、作業

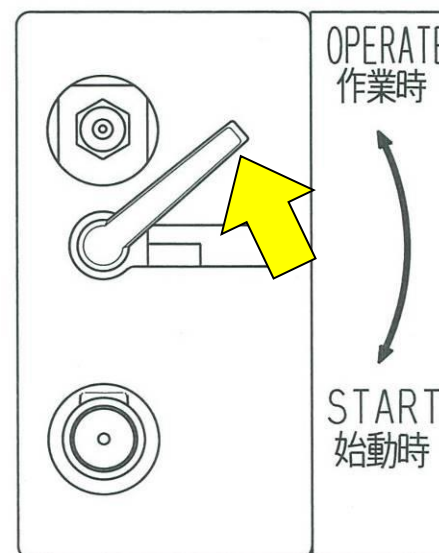
(1) スローダウン装置を使用できないアタッチメントでの使用について

必ずスローダウンスイッチを『OFF』にしてください。

『OFF』にするとエンジン回転が最高回転数でキープされます。



(2) 切換えレバーを『OPERATE 作業時』側に切換えます。



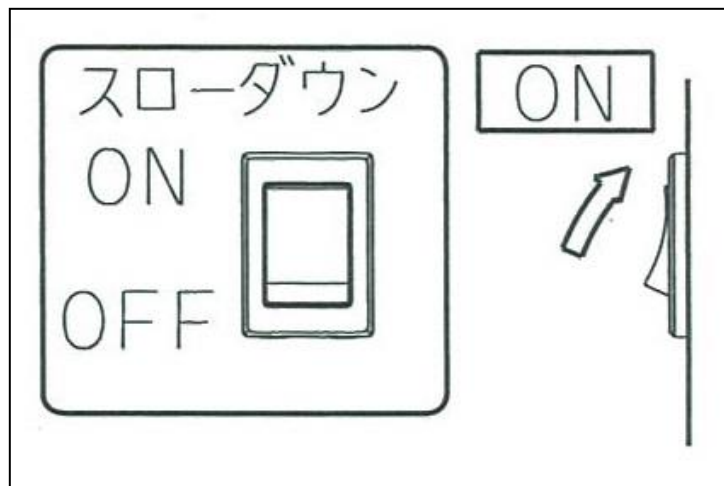
(3) スローダウン機能について

- ・油圧アタッチメントの操作レバーを握り油圧回路の圧力が上昇すると、スローダウン用油圧センサーが反応してエンジン回転数が上昇します。また操作レバーを放すと圧力が低下するためエンジン回転数が下がってスロー運転になります
- ・油圧回路の圧力を基準としているため、油温が低い時はアタッチメントの作業が鈍くなったり、エンジン回転数がスローにならない時がありますが、油温の上昇と共に正常になります(※BH-05Bのみ機械の特性上スローダウンしにくい仕様となっております)

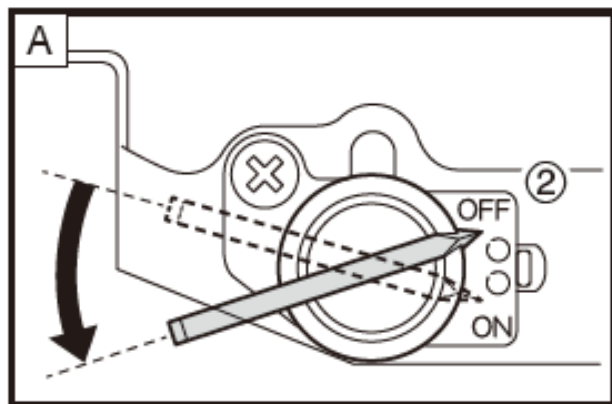
(4) 油圧アタッチメントを使用します。各油圧アタッチメント操作は各々の取扱説明書に従ってください。

4. 停止

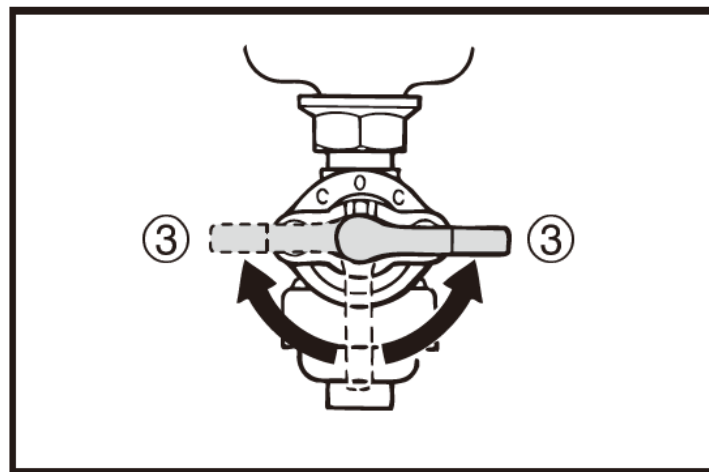
(1) スローダウンスイッチを『OFF』にしている場合は『ON』に切換えます。



(2) エンジンスイッチを『OFF』の位置にします。



(3) 燃料コックのレバーを『OFF (閉じる)』③の位置に合わせます。



(4) 油圧アタッチメント(ブレーカ等)のホースを切り離し、ホースのカプラを互いに接続しておきます。

注意

作業により、油圧アタッチメント(ブレーカ等)のホースや工具、本機の各部が高温になっています。必ず手袋を着用してください。

保守点検

1. 日常点検

- (1) エンジンオイルの量は毎日始動前に点検してください。点検方法は p.9『使用方法の(2)エンジンオイル量の確認』を参照にしてください。
- (2) 作動油の量は油面計の中間位の油面を保つよう、適時、作動油を補充してください(推奨作動油 ISO VG32 又は 46)。
- (3) 本機下や各パネルのすきまから油漏れがないか、また油漏れの疑いがある場合はカバー、パネル内の油圧ホースやポンプの付近に油漏れがないか点検し必要に応じホース金具やボルトを増締めしてください。
- (4) エンジンを始動後、低速で運転し異常な振動や音がないか点検してください。
- (5) 油圧アタッチメントとの接続用の延長油圧ホースは全長にわたって点検し、深い傷やつぶれのために油漏れのおそれのあるものは交換してください
- (6) カバー、パネルのボルトが緩んでないか点検してください。緩んでいる場合は増し締めしてください。
- (7) 使用中に振動でハンドルが動くようになったらボルトとナットを増し締めしてください。

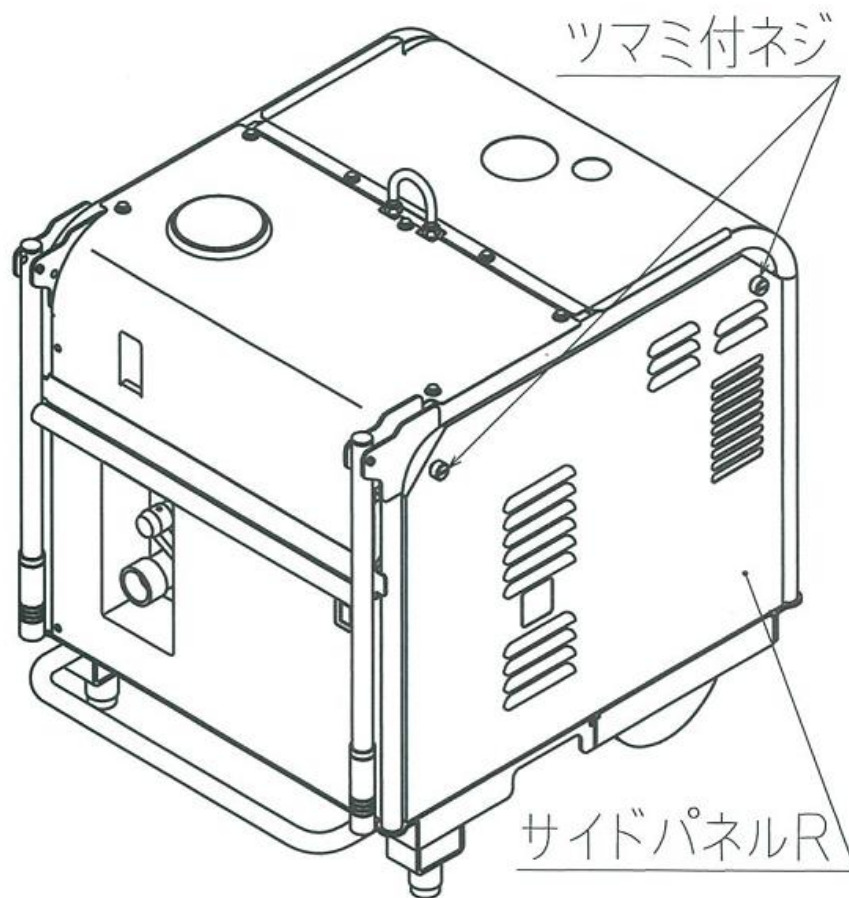
2. 定期点検

本機を常に良好な状態に保つため、次の表に従って必ず保守点検を実施してください。

No.	項目	時間		
		3ヶ月 または 50 時間	6ヶ月 または 100 時間	12ヶ月 または 200 時間
(1)	エンジンオイルの交換	○(※)		
(2)	スパークプラグの清掃	○		
(3)	エアフィルタエレメントの清掃	○		
(4)	作動油の交換		○	
(5)	サクションフィルターの清掃			○
(6)	リターンフィルターの交換			○
(7)	作動油タンクの清掃			○

(※) 初回は1ヶ月または20時間

(1) エンジンオイルの交換、(2) スパークプラグの清掃
サイドパネルR をツマミ付ネジ 2 ヶを緩めて取り外します。



本機の下にエンジンオイルを受け取る容器を用意します。オイル
ドレンボルトとガスケットを取り外してエンジンオイルを完全
に抜きます (MZ300 エンジン取説の p. 21 を参照願います)。
オイルドレンボルトはスパナ 17mm で取外しますが、ソケット
レンチ 17mm の使用を推奨します。
スパークプラグは付属の工具で取外し、焼け具合を点検し、汚れ
ている場合は汚れを落とします (MZ300 エンジン取説の p. 19 を
参照願います)。



(3) エアクリーナーエレメントの清掃方法

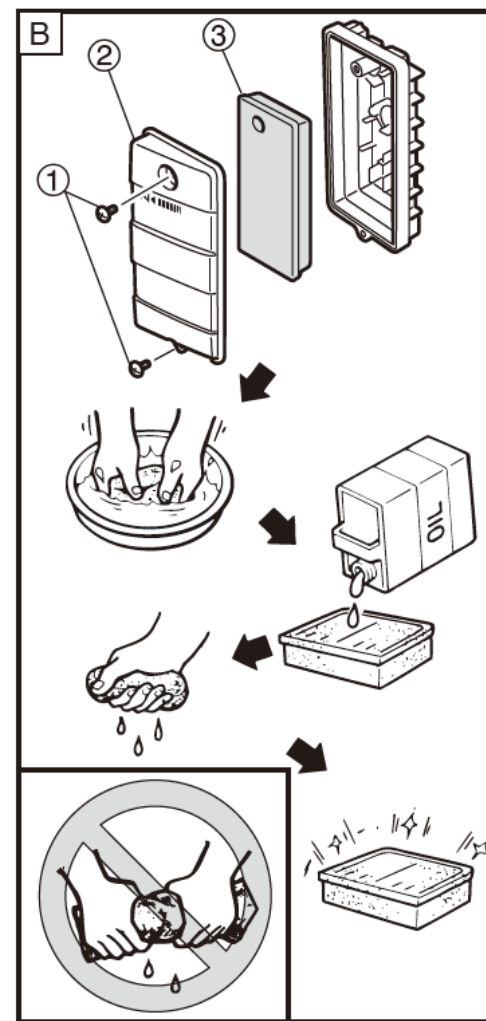
バックパネルをツマミ付ネジ2ヶを緩めて取り外します。

取外後、下図のスクリー2ヶをマイナスドライバーまたはコイン等で緩めてエアフィルタケースカバーを外します(右ページ図参照)



フォームエレメント③を清掃します(MZ300 エンジン取説の p. 22 を参照願います)。

清掃後はバックパネルを再び付けます。M6 六角フランジボルトと平座にて2箇所を締付トルク 6N・m で締め付けて固定します。



(4) 作動油の交換

フロントパネルを外します。

作動油タンク下のドレンプラグ付近に容器を用意します。

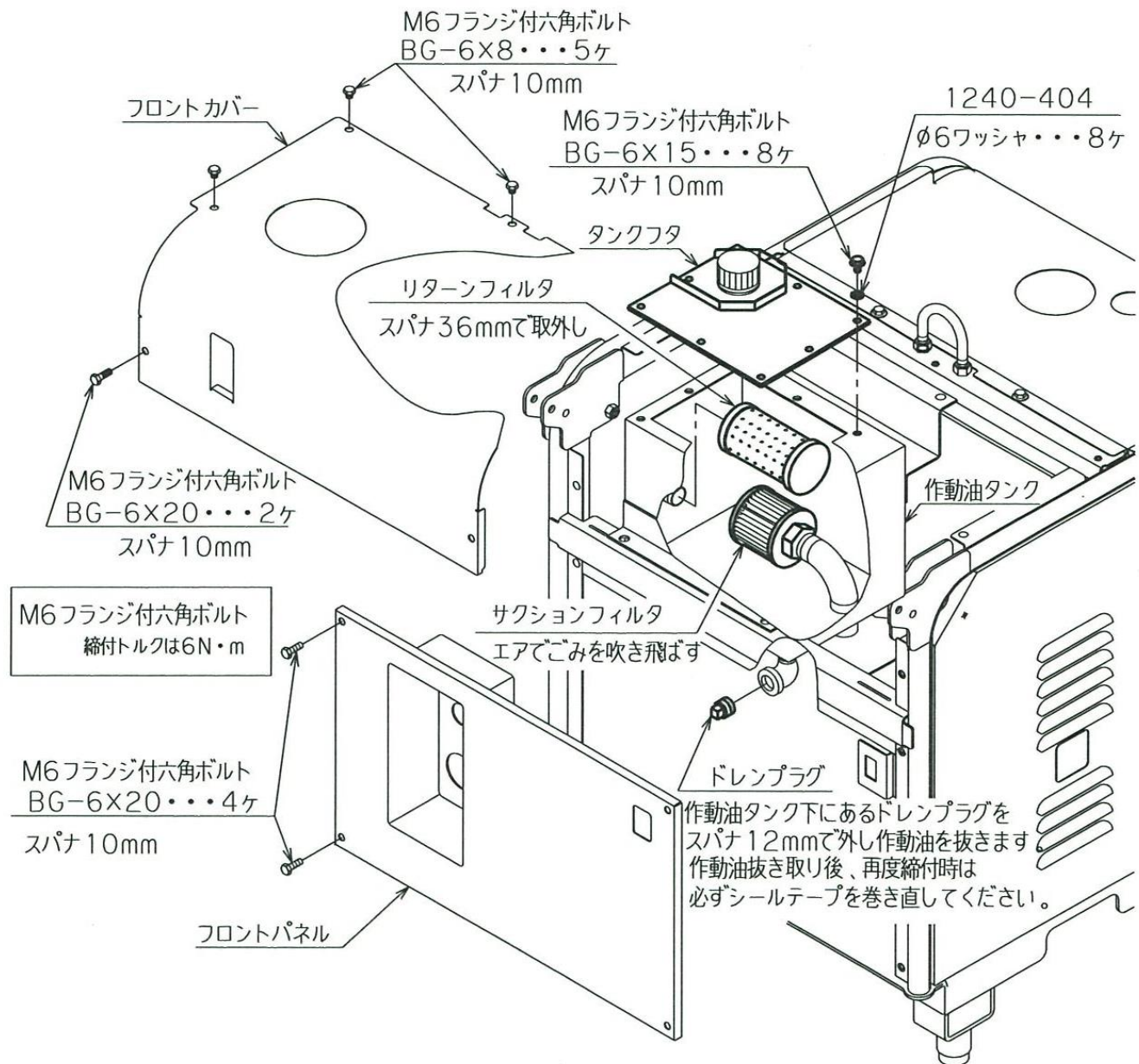
以下は下図を参照願います。

(5) サクションフィルターの清掃、(6) リターンフィルターの交換

(7) 作動油タンクの清掃

フロントカバーを外します。

作動油タンクのフタを外します。以下は下図を参照願います。



異常の原因と処置

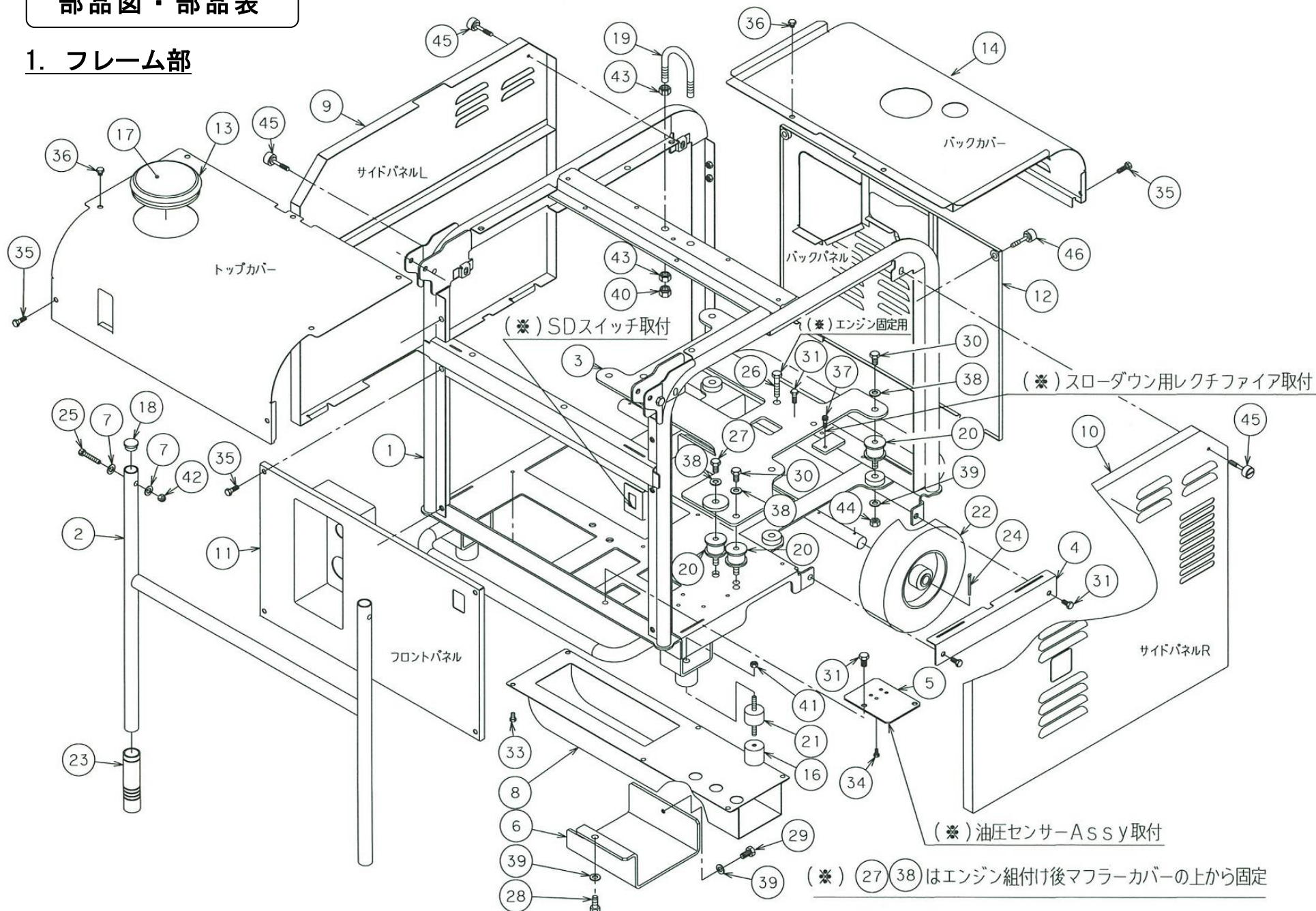
★印については当社または当社サービスセンターへ依頼してください

異 常 現 象	主 な 原 因	処 置
1. エンジンが始動しない	1. 燃料の不足	1. 燃料の注入
	2. 燃料の不良	2. 燃料の交換
	3. 点火プラグの不良	3. 清掃または交換
	4. キャブレタの目づまり	4. 分解清掃する
	5. 燃料コックが閉になっている	5. 燃料コックを開にする
	6. チョーク全閉でのリコイルスタート繰り返しによるスパークプラグの燃料かぶり	6. 燃料コックを閉じて、数回始動グリップを引く
	7. 点火系統の不良	★7. 点検、修理
	8. 燃料フィルタの目づまり	8. 清掃する
	9. エンジンスイッチが“OFF”になっている	9. “ON”にする
	10. エンジンスイッチの損傷またはコードの外れ、損傷	★10. 点検または交換する
	11. エアクリーナの見づまり	11. 清掃する
2. リコイルスタータが重い	1. ホースが接続されていない	1. 油圧アタッチメントと接続する
	2. エンジンオイル不足による焼きつき	★2. 分解、修理
	3. カプラの故障	3. 点検し、不良の場合は交換する
	4. 切替レバーが“始動時”の位置になっていない	4. レバーを切替える
3. エンジン回転が上がらない	1. チョークを戻していない	1. チョークを開く（作業時）に戻す
	2. 燃料不足	2. 燃料注入
	3. 燃料配管の見づまり	★3. 清掃する
	4. エアクリーナの見づまり	4. 清掃する
	5. スローダウン装置の作動不良	★5. 調整、修理

異 常 現 象	主 な 原 因	処 置
4. エンジン回転がスローにならない	1. 作動油温が低い	1. 油温を上げる
	2. 油圧回路の抵抗が大きい(①規定以上の延長ホース使用、②カプラの不具合等)	2. ①規定の延長ホースを使用する ★ ②点検、交換
	3. スローダウン回路の断線、故障	★ 3. 点検、修理
	4. 使用環境に油圧センサーの設定があていない	★ 4. 油圧センサーの調整
	5. BH-05B を使用	5. そのまま使用
5. 油圧アタッチメントが作動しない、または力が出ない	1. アタッチメントの故障	★ 1. (アタッチメントの)点検、修理
	2. アタッチメント仕様 不適合	2. 適合したアタッチメントを使用
	3. 作動油の不足	3. 作動油を補充する
	4. 作動油の劣化	4. 作動油を交換する
	5. ポンプのリリーフ弁圧力の低下	★ 5. リリーフ弁圧力を調整する
	6. ポンプの摩耗による能力の低下	★ 6. ポンプを交換する
	7. カプラの故障	7. 交換する。
	8. 切換レバーが“始動時”の位置になっている	8. 切換レバーを“作業時”に切換える
6. 油温が異常に上がる (90℃以上)	1. ラジエータの目づまり	1. 清掃する
	2. マフラーカバーの断熱材劣化	★ 2. 修理
7. 配管からの油漏れ	1. ホース金具、ホースバンドの緩み	1. 増し締めする
	2. ホースの破損	2. 交換する
8. エンジンスイッチをOFFにしてもエンジンが停止しない	1. SD スイッチコード、アース回路の断線、接触不良	★ 1. 点検、修理
9. エンジンが停止する	1. 過負荷 (リリーフ弁が作動している状態での連続使用) 2. 燃料切れ 3. エンジン点火系統の故障	1. 負荷の軽減 連続負荷を止める 2. 燃料の注入 ★ 3. 点検、修理

部品図・部品表

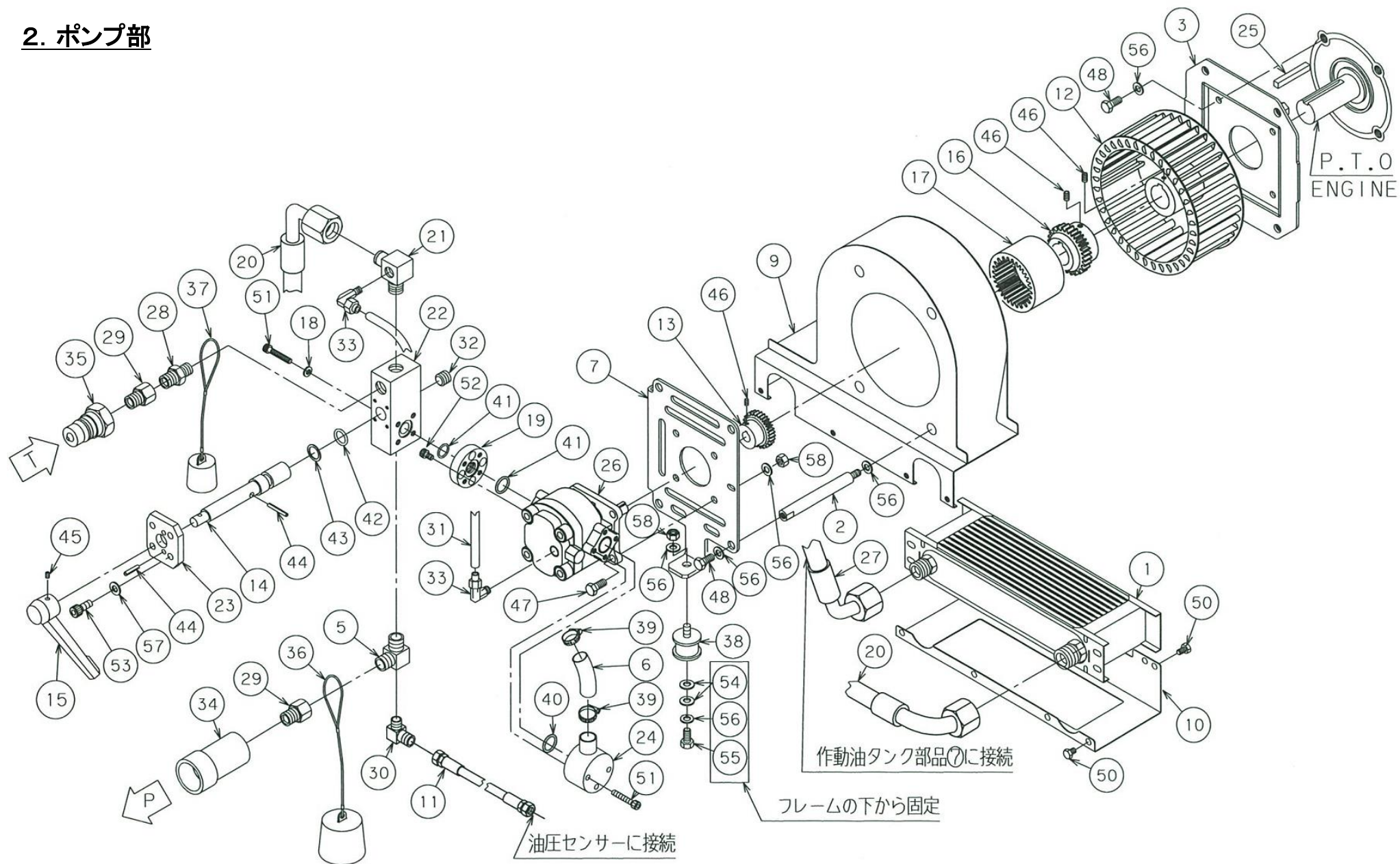
1. フレーム部



1. フレーム部

No.	部品番号	部品名称	数量	No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU16W109A	フレームA	1	27	B-8×22	ボルト	1
2	MU16Y009A	ハンドル	1	28	B-8×20	ボルト	1
3	MU16Y010A	エンジンベース	1	29	B-8×16	ボルト	1
4	MU16Y115A	サイドパネルガイドA	2	30	B-8×16 (3P)	ボルト	5
5	MU16Z031A	SD センサーブラケット	1	31	B-6×15 (2P)	ボルト	7
6	MU16Z032A	ダクトガード	1	32			
7	WSTS-PA-M8	ナイロン丸ワッシャ	4	33	B-5×10 (2P)	ボルト	6
8	MU16Y069A	エアダクト Assy	1	34	B-4×10 (3P)	ボルト	4
9	MU16Z130A	サイドパネル LA Assy	1	35	BG-6×20	ボルト	8
10	MU16Z131A	サイドパネルRA Assy	1	36	BG-6×8	ボルト	7
11	MU16Z132A	フロントパネル A Assy	1	37	BH-5×20	ボルト	1
12	MU16Z126A	バックパネル B Assy	1	38	WP-8	ザガネ	6
13	MU16Y133A	フロントカバーA Assy	1	39	WS-8	ザガネ	8
14	MU16Y134A	バックカバーA Assy	1	40	NN-10	ナット	2
15				41	NN-6	ナイロンナット	2
16	MU08Z058A	前足	2	42	NU-8	ナット	2
17	C-30-SG-100A-EP-UL	グロメット	1	43	N1-10	ナット	4
18	202-100009 黒	平丸中栓 21.7mm 用	2	44	N1-8	ナット	8
19	M10×32A (1 1/4) 用	Uボルト	1	45	TL-112-635	ツマミ付ネジ	4
20	RA-30	防振ゴム	7	46	TL-112-625	ツマミ付ネジ	2
21	KA-25	防振ゴム	2	47	BH-6×15	ボルト	2
22	G-200B	ソリッドタイヤ	2	48			
23	C-57	グリップ	2	49	WP-6	ザガネ	2
24	PS-3. 2×30	割ピン	4	50	WS-6	ザガネ	2
25	B-8×40 (10. 9)	ボルト	2	51	BH-6×15(クロメート)	ボルト	1
26	B-8×40 (3P)	ボルト	4				

2. ポンプ部



2. ポンプ部 1

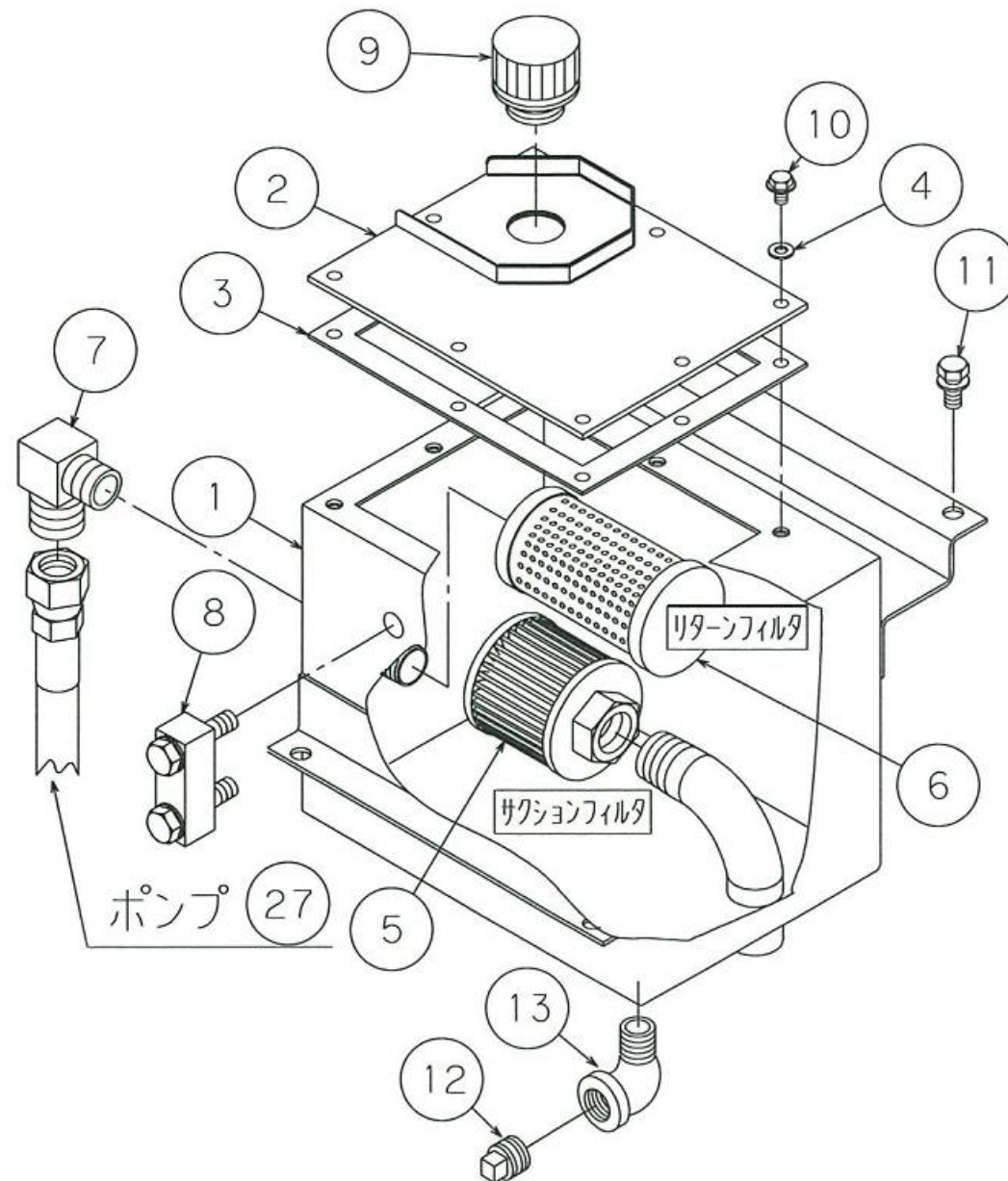
No.	部品番号	部品名称	数量	No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU16Z002A	ラジエータ Assy	1	24	M9ATZ071A	サクシヨンフランジ B	1
2	MU16Z003A	スタッドボルト M8	4	25	MZ300 用	キー	1
3	MU16Z011A	取付板	1	26	MU16Z136A	油圧ポンプ	1
4				27	O1126・7――38――	ホース	1
5	MU16Z039A	エルボ追加工	1	28	AJ-2040-06	ニップル	1
6	MU16Z040A	サクシヨンホース	1	29	AJ-2083-06	アダプタ	2
7	MU16Y062A	ポンプフランジ A	1	30	190-2-2	アダプタ	1
8				31	N5-4-8×6 L=180	ナイロンチューブ	1
9	MU16Y076A	ファンケース Assy	1	32	BPH1-PT3/8	プラグ	1
10	MU16Y077A	ラジエータカバー Assy	1	33	L4N8×6-PT1/4	エルボ	2
11	MU16Z081A	SD ホース	1	34	QC-03F	カプラ(メス)	1
12	MU14Z001A	FAN	1	35	QC-03M	カプラ(オス)	1
13	MU14Z045A	カップリング	1	36	CC-03F	カプラキャップ(メス)	1
14	MU08Z015B	ロータリー(L)	1	37	CC-03M	カプラキャップ(オス)	1
15	MU08Z030A	レバー追加工	1	38	RA-30	防振ゴム	1
16	MU07Z033A	カップリング(P)	1	39	SS-8	ホースバンド	2
17	MU07Z034A	ハブ	1	40	OP-22	Oリング	1
18	MU02Z092A	平座金	4	41	OP-18	Oリング	2
19	M9ATZ007A	バルブフランジ	1	42	OP-10A	Oリング	1
20	M9ATZ029A	ラジエータホース 2	1	43	OPB-10A	バックアップリング	1
21	M9ATZ034A	エルボ追加工	1	44	PR-4×14	スプリングピン	3
22	M9ATZ059A	バルブボディ C	1	45	SH-5×6(TOGARISAKI)	トメネジ	1
23	M9ATZ060A	プレート B	1	46	SH-6×8くぼみ先(クロメート)	トメネジ	3

2. ポンプ部 2

No.	部品番号	部品名称	数量
47	B-8×25	ボルト	4
48	B-8×20	ボルト	8
49			
50	B-6×10(2P)	ボルト	6
51	BH-6×45(2P)	ボルト	7
52	BH-6×20	ボルト	4
53	BH-5×15	ボルト	4
54	WP-8	ザガネ	2
55	B-8×16	ボルト	1
56	WS-8	ザガネ	16
57	WS-5	ザガネ	4
58	N1-8	ナット	5

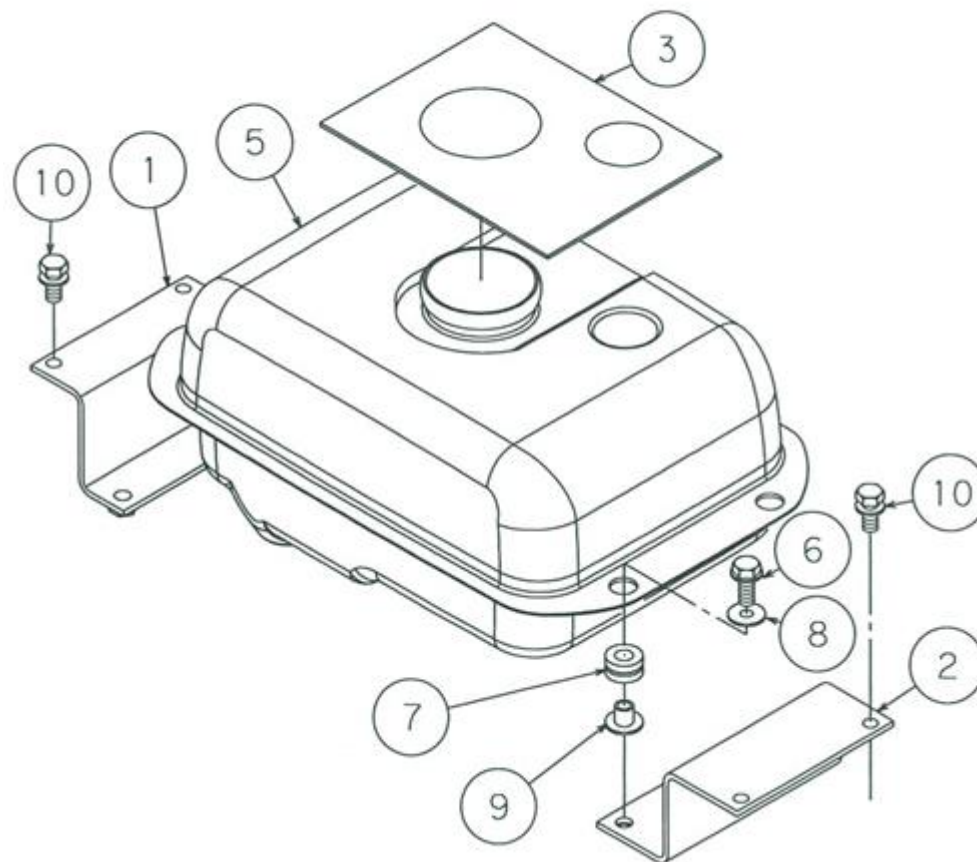
3. 作動油タンク

No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU16Y006A	タンク	1
2	MU16Y007A	タンクフタ	1
3	MU16Z008A	タンクパッキン	1
4	1240-404	φ6 ワッシャ	8
5	SFT-06	サクシヨンフィルター	1
6	RC-04-30-15	リターンフィルター	1
7	AJ-1034-08	エルボ	1
8	KLA-40A-C M10 フロート赤	アクリル製オイルゲージ	1
9	BM-3/4	ブリーザキャップ	1
10	BG-6×15	ボルト	8
11	B-6×15 (2P)	ボルト	4
12	BPQ-PT3/8	プラグ	1
13	メスオスエルボ 3/8	鋳鉄製管継手	1



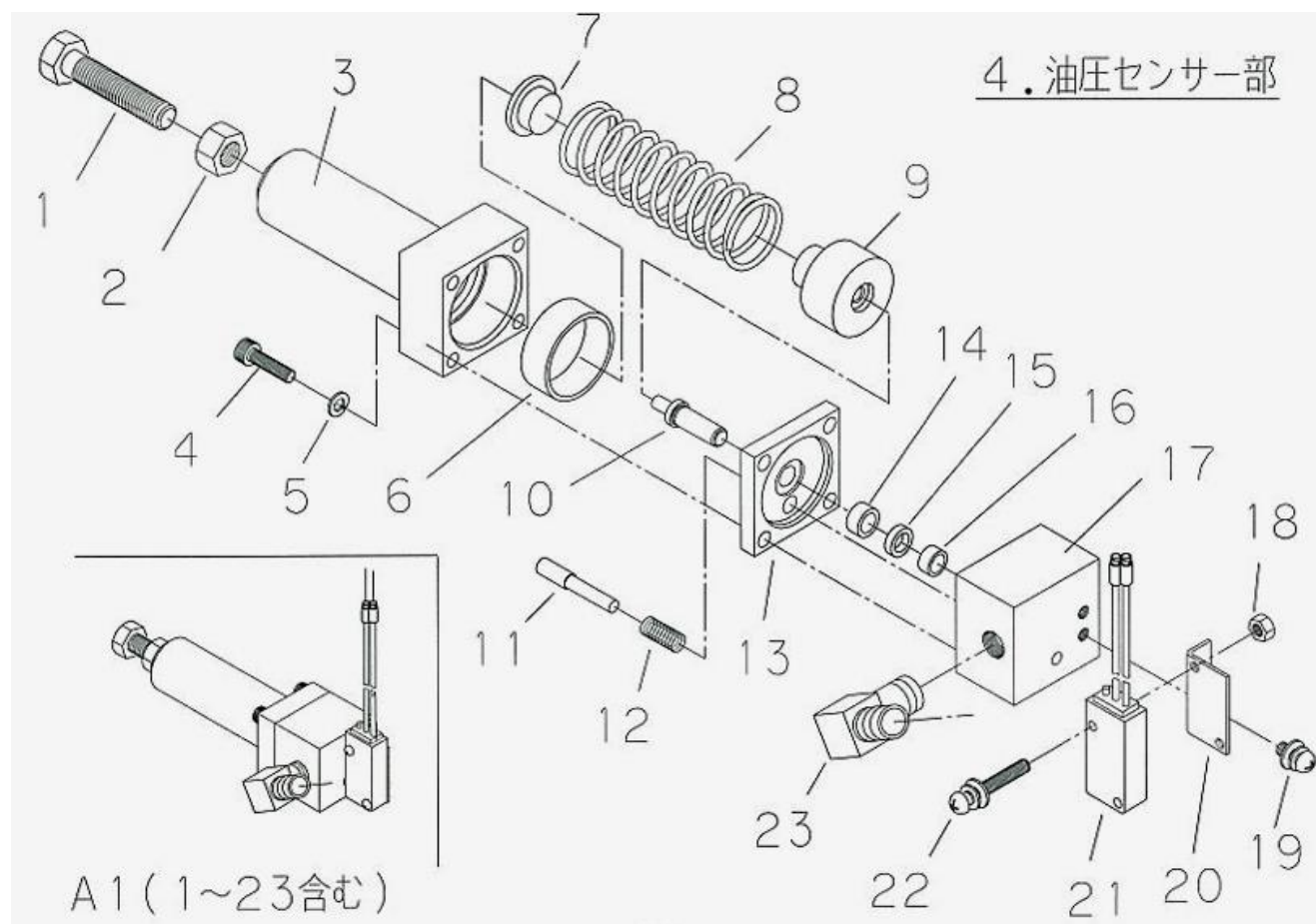
4. 燃料タンク

No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU16Z004A	燃料タンクブラケット L	1
2	MU16Z005A	燃料タンクブラケット R	1
3	MU16Z051A	燃料タンクパッキン	2
4	—	—	—
5	7VB-F410A-40	フューエルタンク	1
6	7CT-F4176-00	タンク取付用ボルト	4
7	90480-15235	タンク取付用グロメット	4
8	90201-06085	タンク取付用ワッシャ	4
9	90387-068K8	タンク取付用カラー	4
10	B-6 × 15 (2P)	ボルト	4



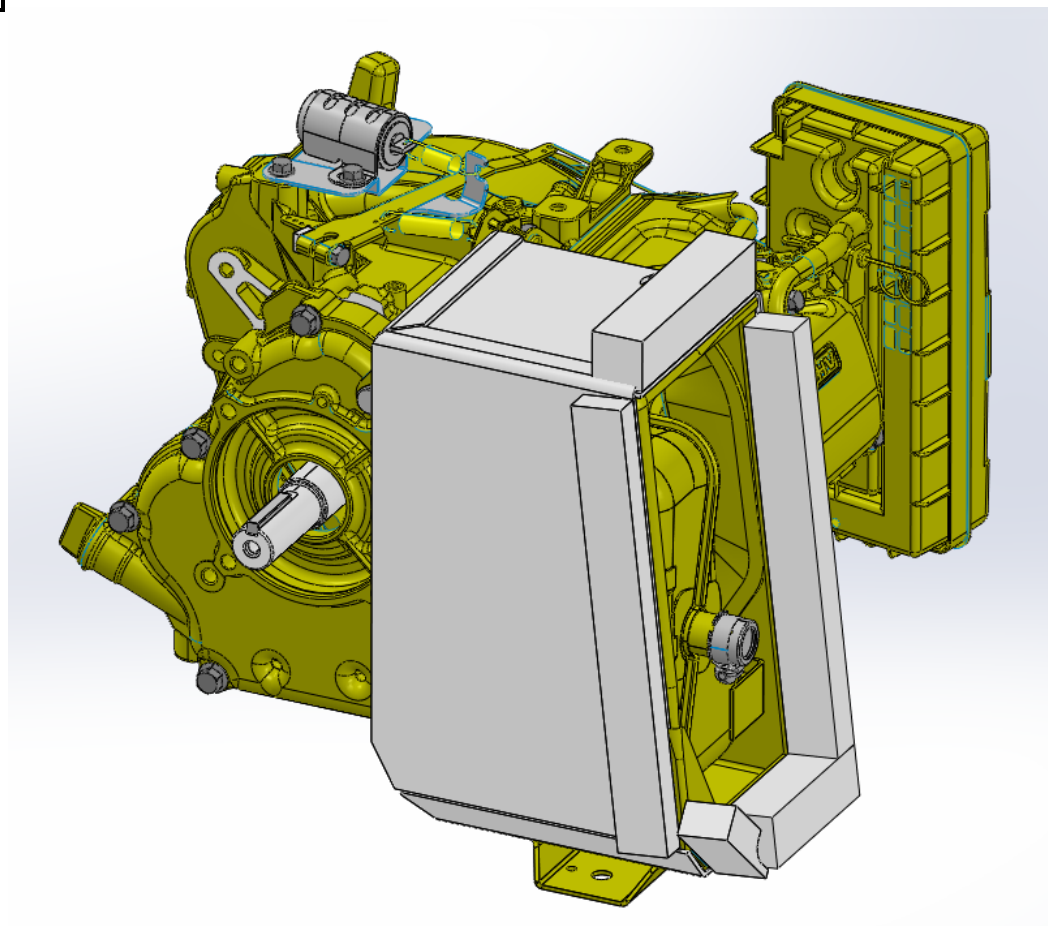
5. 油圧センサー.

No.	部品番号	部品名称	数量
1	B-8×40	ボルト	1
2	N1-8	ナット	1
3	MU10Z070A	スプリングカバー (センサー部)	1
4	BH-4×30	ボルト	4
5	WS-4	ザガネ	4
6	K5B2510	DDK05ブッシュ	1
7	MU10Z033A	ザガネ(B)	1
8	11-1854	スプリング	1
9	MU10Z068A	センサーバネ座	1
10	MU10Z067A	センサースプール	1
11	MU10Z069A	センサープッシュロッド	1
12	WF5-15	スプリング	1
13	MU10Z065A	センサーブッシュ	1
14	MU10Z066A	センサーカラー	1
15	CAP-1BI-6	キャップシール	1
16	K5B0604	DDK05ブッシュ	1
17	MU10Z064A	センサーボディ	1
18	N1-3	ナット	2
19	SR-3×6 (3P)	小ネジ	2
20	MU10Z027A	ブラケット	1
21	MU10Z051A	マイクロスイッチAssy	1
22	SR-3×20 (3P)	小ネジ	2
23	190-2-2	アダプタ	1
A1	MU10Y075A	油圧センサーAssy	1



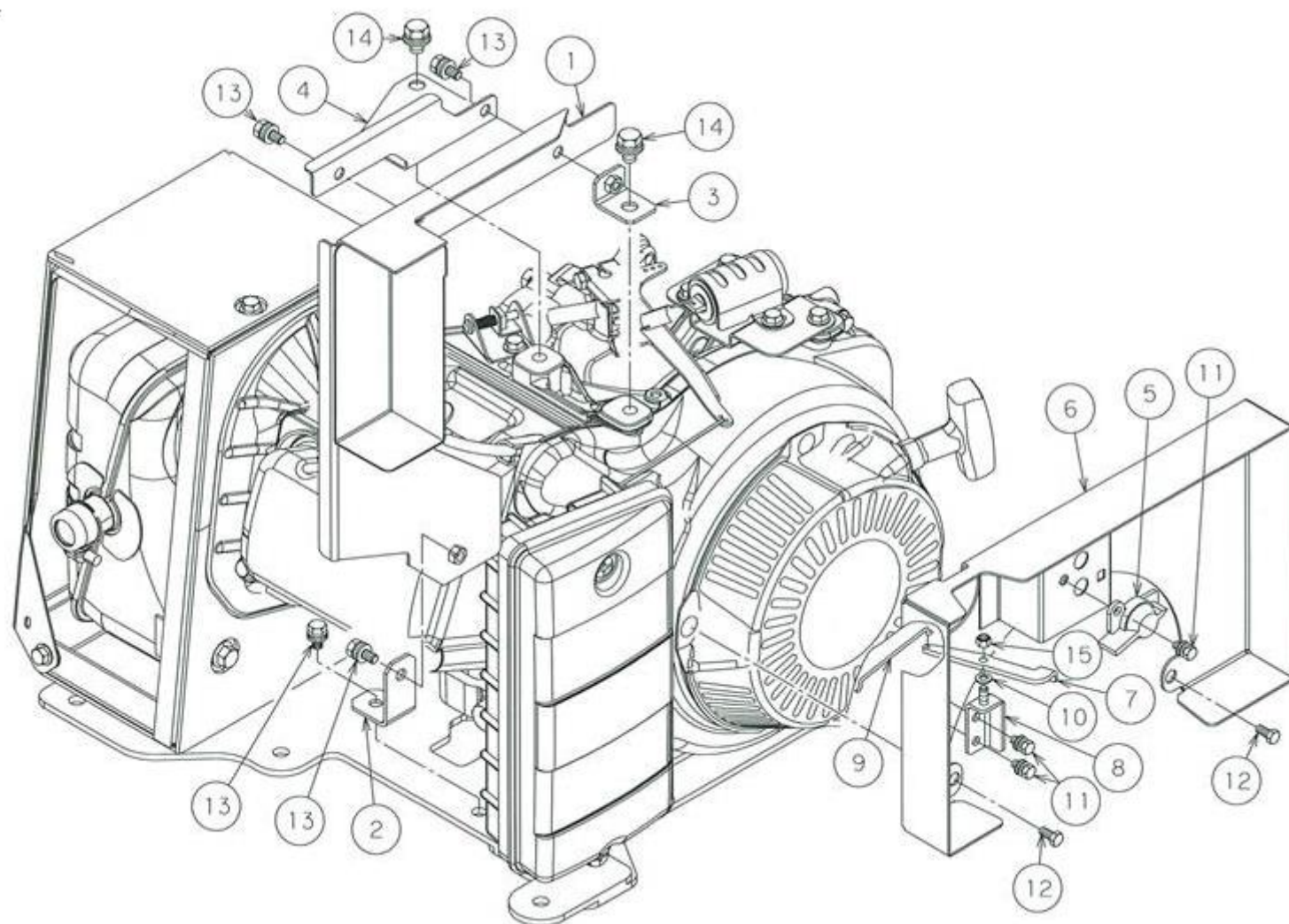
6. エンジン

No.	部品番号	部品名称	数量
1	MZ300(丸善仕様)	エンジン	1



7. エンジン後部(リコイルスタータ周り)

No.	部品番号	部品名称	数量	No.	部品番号	部品名称	数量	No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU16Z135A	防風板 Assy	1	6	MU16Y113A	グリップカバーA	1	11	B-5×12(3P)	ボルト	3
2	MU16Z035A	防風板ステー1	1	7	MU16Z119A	チョークレバーB	1	12	BG-6×10	ボルト	3
3	MU16Z036A	防風板ステー2	1	8	MU16Z120A	チョークレバーステー	1	13	B-6×15(3P)	ボルト	4
4	MU16Z037A	防風板ステー3	1	9	MU16Z121A	チョークバーA	1	14	B-8×16(3P)	ボルト	2
5	MU16Z038A	エンジンスイッチ	1	10	WS-PA-M5	ナイロン丸ワッシャ	1	15	NN-5	ナット	1



8. 電気配線

No.	部品番号	部品名称	数量	No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU16Z015A	SD スwitch Assy	1	6	MU16Z020B	ソレノイドコード	1
2	MU16Z016B	SD スwitchコード	1	7	MU16Z021A	エンジンスitchコード	1
3	MU16Z017B	アースコード(ダイオード)	1	8	MU16Z038A	エンジンスitch	1
4	MU16Z018B	センサーコード	1	9	MU10Y075A	油圧センサー Assy	1
5	MU16Z019B	アースコード(エンジン)	1	10	7C3-H7105-00	スローダウン用レクチファイア	1

